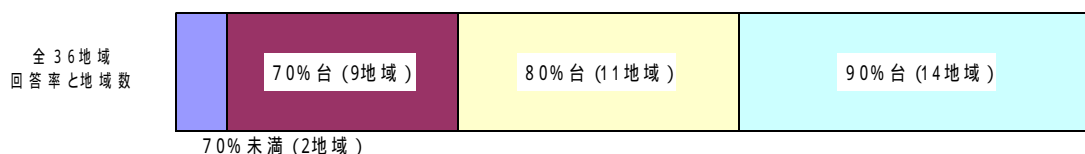


## 2. 調査結果の概要

本調査の結果を以下に示す。なお、図表の番号は報告書中のものとは異なる。

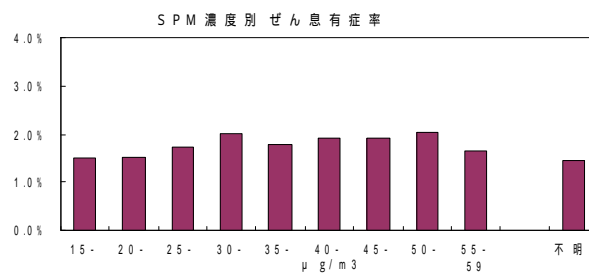
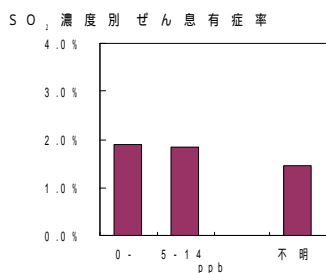
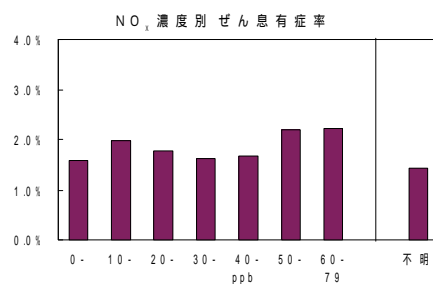
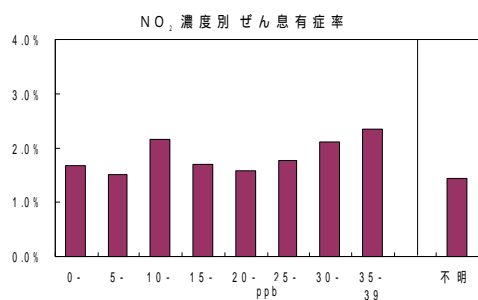
### (1) 対象者数及び回答率

平成8年度3歳児健康調査の対象者数は77,673名、回答者数は63,521名で、回答率は81.8%であった。(各地域の回答率及び地域数：表1参照)



### (2) 対象者別背景濃度区分ごとの呼吸器症状有症率

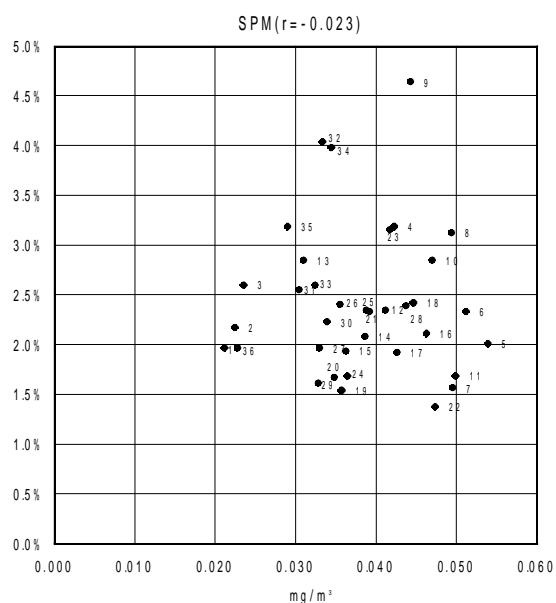
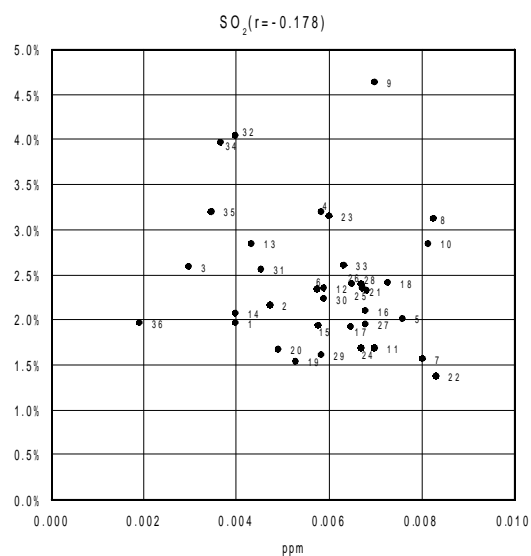
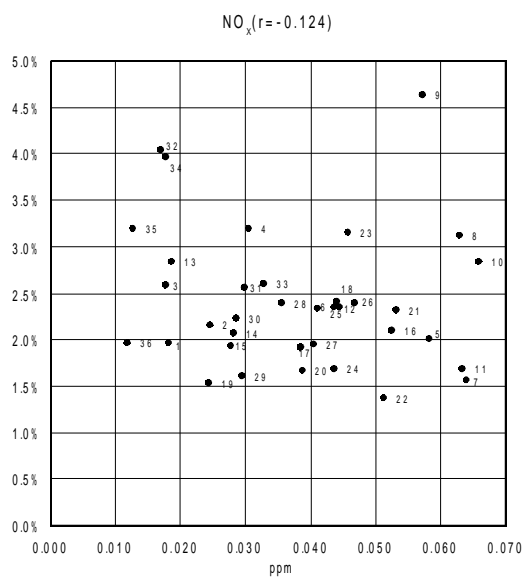
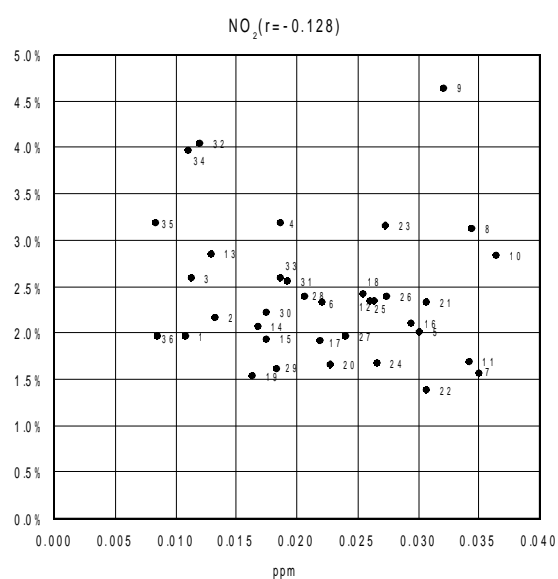
対象者別背景濃度区分ごとの呼吸器症状有症率では、ぜん息のように、NO<sub>2</sub>又はNO<sub>x</sub>の高い側の濃度区分で他の濃度区分と比べ高い有症率を示す箇所がみられるが、全濃度区分を通してみると、対象者別背景濃度ごとの有症率には一定の傾向はみられなかった。他の呼吸器症状及び汚染因子についても、全般的には対象者別背景濃度と有症率の間に一定の傾向はみられなかった。



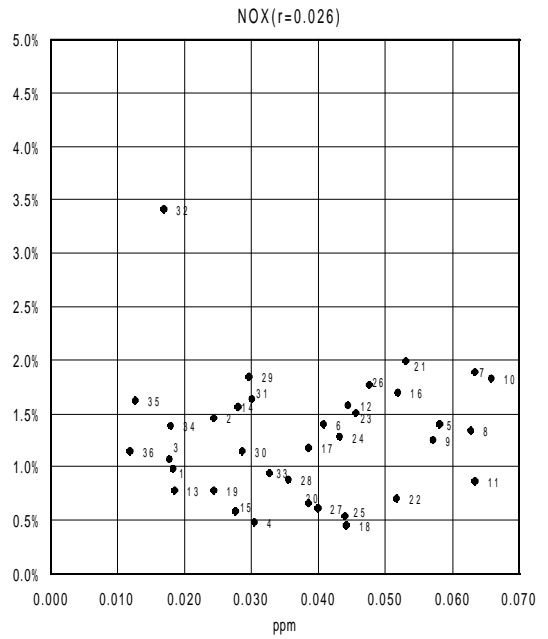
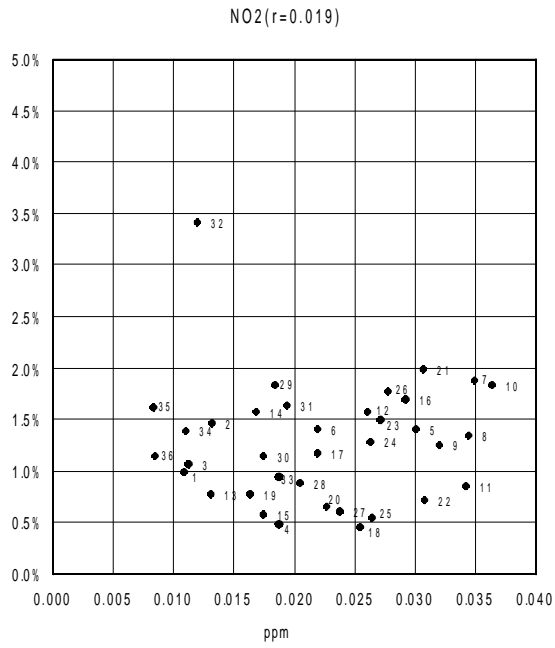
( 3 ) 調査対象地域ごとの対象者別背景濃度平均値と呼吸器症状有症率

調査対象地域ごとの対象者の背景濃度平均値と呼吸器有症率では、濃度が高い地域ほど有症率が高い(統計学的に有意:  $P < 0.05$ )という傾向を示すものはなかった。

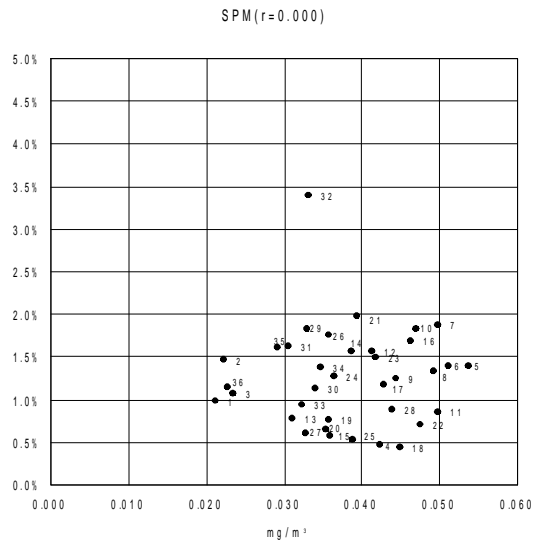
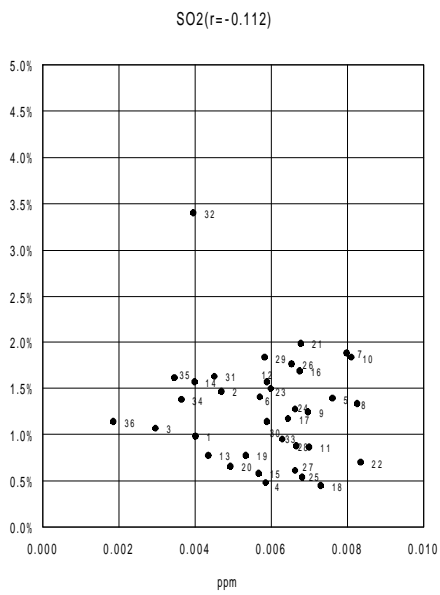
背景濃度とぜん息の調整有症率の相関 男児



背景濃度とぜん息の調整有症率の相関 女兒



---



(4) オッズ比による検討

性・アレルギー素因では、比較的大きなオッズ比が観察され、しかも、95%信頼区間の下限が1.6程度と1より大きかった。従って、この二つの要因がぜん息に関連していることに関して、統計的な誤差はほとんど考慮する必要がない。大気汚染物質ではNO<sub>2</sub> 10ppb増加あたり1.05、NO<sub>x</sub> 10ppb増加あたり1.03、SO<sub>2</sub> 10ppb増加あたり1.02、SPM 10μg/m<sup>3</sup>あたり1.04と、推定値は1.0を超えているが、95%信頼区間の下限は1より小さく、統計的誤差の可能性も考えられる。

NO <sub>2</sub>		推定オッズ比	95%信頼区間(下限, 上限)
NO <sub>2</sub>	10ppb あたり	1.05	(0.98, 1.13)
性別	男子	1.82*	(1.61, 2.07)
	女子	1.00	
家庭内喫煙	母	1.07	(0.88, 1.30)
	母以外	0.92	(0.81, 1.05)
	なし	1.00	
家屋構造	木造木枠	1.18	(0.81, 1.71)
	木造サッシ	1.05	(0.93, 1.19)
	鉄筋	1.00	
暖房器具	非排気	1.03	(0.91, 1.17)
	排気・他	1.00	
居住年数	1年あたり	0.97	(0.89, 1.05)
ペットの有無	あり	1.02	(0.88, 1.18)
	なし	1.00	
アレルギー素因 (本人)	あり	2.79*	(2.48, 3.15)
	なし	1.00	
アレルギー素因 (親)	あり	1.90*	(1.68, 2.14)
	なし	1.00	

NO <sub>x</sub>		推定オッズ比	95%信頼区間(下限, 上限)
NO <sub>x</sub>	10ppb あたり	1.03	(0.99, 1.07)
性別	男子	1.82*	(1.61, 2.07)
	女子	1.00	
家庭内喫煙	母	1.06	(0.87, 1.30)
	母以外	0.92	(0.81, 1.05)
	なし	1.00	
家屋構造	木造木枠	1.18	(0.81, 1.72)
	木造サッシ	1.05	(0.93, 1.19)
	鉄筋	1.00	
暖房器具	非排気	1.03	(0.91, 1.17)
	排気・他	1.00	
居住年数	1年あたり	0.97	(0.89, 1.05)
ペットの有無	あり	1.02	(0.88, 1.18)
	なし	1.00	
アレルギー素因 (本人)	あり	2.79*	(2.48, 3.15)
	なし	1.00	
アレルギー素因 (親)	あり	1.90*	(1.68, 2.14)
	なし	1.00	

\*：統計学的に有意（P < 0.05）

SO<sub>2</sub>

		推定オッズ比	95%信頼区間（下限，上限）
SO <sub>2</sub>	10ppb あたり	1.02	(0.73, 1.43)
性別	男子	1.82*	(1.61, 2.07)
	女子	1.00	
家庭内喫煙	母	1.08	(0.89, 1.31)
	母以外	0.92	(0.82, 1.05)
	なし	1.00	
家屋構造	木造木枠	1.17	(0.80, 1.69)
	木造サッシ	1.04	(0.92, 1.17)
	鉄筋	1.00	
暖房器具	非排気	1.03	(0.91, 1.17)
	排気・他	1.00	
居住年数	1年あたり	0.96	(0.89, 1.05)
ペットの有無	あり	1.02	(0.88, 1.18)
	なし	1.00	
アレルギー素因 (本人)	あり	2.79*	(2.48, 3.15)
	なし	1.00	
アレルギー素因 (親)	あり	1.91*	(1.69, 2.15)
	なし	1.00	

SPM

		推定オッズ比	95%信頼区間（下限，上限）
SPM	10 µg/m <sup>3</sup> あたり	1.04	(0.98, 1.10)
性別	男子	1.82*	(1.61, 2.07)
	女子	1.00	
家庭内喫煙	母	1.07	(0.88, 1.30)
	母以外	0.92	(0.82, 1.05)
	なし	1.00	
家屋構造	木造木枠	1.17	(0.81, 1.71)
	木造サッシ	1.04	(0.92, 1.18)
	鉄筋	1.00	
暖房器具	非排気	1.03	(0.91, 1.16)
	排気・他	1.00	
居住年数	1年あたり	0.97	(0.89, 1.05)
ペットの有無	あり	1.02	(0.88, 1.18)
	なし	1.00	
アレルギー素因 (本人)	あり	2.80*	(2.48, 3.15)
	なし	1.00	
アレルギー素因 (親)	あり	1.90*	(1.68, 2.14)
	なし	1.00	

注：各モデルとも、性、喫煙、家屋構造、暖房器具、居住年数、ペット、アレルギー素因に当該汚染物質1種を加えた説明変数で計算をおこなった。